

相模原市立小学校2校で環境教育プログラム 「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」を開催！ ～”脱炭素社会の実現”と“再生可能エネルギー”について学ぶ～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「当社」）は、2025年12月15日と2026年1月23日に、神奈川県相模原市立の小学校2校にて、環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」の環境授業を開催しました。本プログラムは、子どもたちが地球温暖化の現状を学び脱炭素社会の実現や再エネについて理解を深めていただくことを目的として実施しました。

当日は、当社が校舎の屋上に太陽光発電設備を設置した小学校の5年生122名と4年生103名に参加いただきました。授業では『脱炭素社会の実現と再生可能エネルギー』をテーマに、再エネが脱炭素社会の実現に果たす役割や当社の取り組み事例も紹介し、環境のために自分たちができることについて考えるきっかけとなるような授業を実施しました。授業の間では、4～6人ずつのグループに分かれ、カードを用いたワークショップを実施し、子どもたち同士で意見を交換し合う場を設けました。授業の最後には、内容に関する質疑応答の時間を設け、子どもたちの関心をさらに高める場となりました。

参加した子どもたちからは、「太陽光パネルは熱いですか」「海の風力発電所はどうやって浮いているのですか」「近場に出かける時もしっかり電気を消したかったです」「自分の知らないところで地球温暖化が進んでいることを知ることができました」など、再エネに関する活発な質問や感想が寄せられました。

当社は、こうした子どもたちの好奇心や探求心を大切に、持続的な社会の実現を目指して、より多くの方々が環境問題に関心を持つきっかけとなるよう、ReENE ÉCOLEの活動を今後も積極的に推進してまいります。



▲環境授業の様子

■ ReENE ÉCOLE (リエネ エコール) とは



**ReENE
ÉCOLE**
リエネ エコール

「ReENE ÉCOLE」とは、東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE (リエネ)」のブランド名と、フランス語で学校・学び舎“を指す「ÉCOLE」を組み合わせ、発電所のある地域をはじめ全国の子供たちに、再生可能エネルギーを中心とした環境問題を楽しんで学んでいただくことを目的とした環境教育プログラムです。

〈実施事例〉

2024年12月、全国各地の子供たちがつながり、地球の今と未来を考えるオンライン型環境教育イベント「ReENE サミット (リエネサミット)」を開催しました。

本イベントは、子供向けの教育活動に多数の実績を誇る株式会社探究学舎とコラボし、自分たちの住むまちや地球の「いま」と「みらい」を考えてもらうことを目的として実施し、186名の方に参加申し込みをいただきました。



イベントの様子

■ イベント概要

▽イベント名：ReENE ÉCOLE

▽主催：東急不動産

▽内容：脱炭素社会の実現と再生可能エネルギー

(1) 相模原市立小学校 1回目

▽日時：2025年12月15日 (月) 10:45～11:30、11:35～12:20 (各授業2クラス合同)

▽対象：小学5年生 122名

▽場所：小学校 教室

(2) 相模原市立小学校 2回目

▽日時：2026年1月23日 (金) 11:30～12:15 (3クラス合同)

▽対象：小学4年生 103名

▽場所：小学校 体育館



東急不動産